



- 消防団定期点検を実施——2～3
- お知らせ——8～9
- 生涯学習で実り多い人生を——4～5
- 公民館だより——10～11
- 水環境整備事業——6
- わだい——12
- 長崎県・大分県国見町の訪問が実現——7



太陽のもとで 水しぶき

町民プールオープン初日の
7月2日、200人を超える利
用者が訪れ、梅雨空からのぞ
く太陽のもとで、水しぶきを
あげていました。



消防体制の万全を期して

消防団定期点検を実施

町消防団の定期点検が、六月十二日、藤田市街地路上および藤田小学校校庭で行われました。午前九時に藤田市街地路上に整列した団員を、十四台の車に分乗した町長、団長、副団長、来賓の町議会議員の皆さんらが車上より観閲。

観閲の後、団員の皆さんは、ラッパ隊を先頭に藤田小学校まで堂々と行進しました。

藤田小学校校庭に整列した団員を前に、佐藤忠美団長が力強く訓示。出席者全員が、消防活動による殉職者に対して黙祷をささげた後、消防功労者の表彰と表彰の伝達が行われ、第二分団長の須田寛一さんらに表彰状と記念品が手渡され、受賞者を代表して、第五分団第二部班長の八島仁さんが、「消防団員としての使命と本日のこの表彰の栄を肝に銘じ、なお一層の任務の遂行に邁進する覚悟です」と、謝辞を述べました。

また、通常点検・機械器具点検や団員の皆さんによる各個訓



藤田市街地路上に整列した団員の皆さんを富永町長らが観閲



「団長に敬礼」



第2分団の皆さんが日頃の訓練の成果を披露



真剣に各個訓練を行う団員の皆さん

**消防の役割は
こんなに重要です**

消防の任務

消防の任務は、その施設および人員を活用して、国民の生命身体および財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、およびこれらの災害に因る被害を軽減することにあります。

消防団員の皆さんは、これらの消防の任務を遂行するため、広範囲にわたり活動を行います。

火災時の活動

消火活動に従事することはもちろんですが、消防団は地区ごとに分団や部が組織されているため、火元に近い団員の皆さんは、初期消火に大きな役割を果たします。

また、常備消防との連携が図れるよう、消防水利の確保と消防水利への消防車の誘導、火災現場付近の交通整理、消火後の残火の処理も行います。

大規模災害時には災害防衛に大勢の消防団員が活動します。

防災無線を駆使して、被害状況の把握に努めるとともに、二次災害の防止を図り、巡回広報や

練・小隊訓練・ポンプ操法・分列行進がきびきびと行われました。

富永武夫町長が、「有事に際しては、迅速果敢、冷静に事に当たり、災害を最小限に食い止め、住民の生命と財産の安全確保をさせていただきますよう期待します」と講話を述べたのに続き、志賀正達柔折警察署長、仲野周一町議会議長らが祝辞を述べました。

表彰および表彰伝達された皆さん (敬称略)

- 消防庁長官表彰
 (永年勤続功労章)
 須田寛一 石川好一
 福島県知事表彰
 (精勳章)
 斎藤栄司
 (永年勤続章)
 大内勝美 松田和男
 菊地頭一 高橋八千代
 浅野孝保 松浦勝吉
 日本消防協会会長表彰
 (功績章)
 近野富多
 (精績章)
 斎藤栄司
 福島県消防協会会長表彰
 (功績章)



団員の志気を高揚し行進するラッパ隊

- 斎藤栄司 (精勳章) 佐藤且雄
 大内勝美 (勤統章) 高橋博 松浦新一
 菊地良七 (勤統章) 玉手元治 村上清正
 野村安夫 野村孝一 小島重一
 小島利夫 小林憲一 佐藤金兵衛
 寺島孝一 野村元次郎
 佐藤正和 松浦稔
 (退職団長感謝状)
 阿部恒夫 (退職団員感謝状)
 阿部恒夫 安孫子正
 阿部恒夫 佐藤邦治 吉田喜八郎
 佐藤邦治 志村孝明
 斎藤正 村木一郎
 阿部茂男 佐藤隆造 菊池勝雄
 園井好之 佐藤岩男
 吉田洋一 佐久間利春
 本田林一郎 佐藤幸雄
 伊達支部長表彰
 (功績章)
 大内勝美 松田和男
 穴戸伊勢雄 浅野武志
 (精勳章)
 舟山武継 穴戸且郎
 鈴木富男 後藤正勝
 鈴木耕治 鈴木英夫
 町長・団長連名感謝状
 (永年勤続退職団員感謝状)
 佐藤錦佳 吉川清一
 野村元次郎 佐藤正和
 木田林一郎 松浦稔
 吉田敏彦
 国見町消防団長表彰
 (優良団員表彰)
 高野繁治 八島仁



受賞者を代表して謝辞を述べる八島さん



表彰状の伝達をうける須田分団長

住民指導、避難誘導を行います。また、災害復旧に当たるとなると消防団の活動は多岐にわたっています。

水害時等の活動
 消防団員は水防団員も兼ねており、水害が予想される場合には、河川等のパトロールを行い警戒に当たり、状況に応じて、土のう積等の水防活動に従事します。

地域に密着した活動
 消防団員は、地域とのつながりが深く、地域の事情に精通しているため、きめ細かな防火点検、危険箇所点検、さらには、遭難者の救助、捜索、地域の行事や祭りの警備など、地域に密着した幅広い活動に従事しています。

このように、あらゆる災害に対処できるように、そして、地域の皆さんの安全が確保されるよう、消防団員の皆さんは仕事の傍ら活動しているのです。

地域のリーダーとして
 消防団員は、定期的に各種訓練を実施し、消防防災に関する知識や技能を有しているため、的確に災害等の防衛活動を行うことができます。

このため、災害時には団員が地域のリーダーシップを執ります。

実り多い人生を

～生涯学習意識調査結果まとまる～

国をあげて生涯学習の必要性が叫ばれている今、国見町においても生涯学習を推進するための組織の確立が急がれています。

町民の皆さんが、生涯学習に対してどのような考えを持っているかを把握するため、昨年一月、国見町在住の十八歳から八十歳未満の男女（人口の十％）を対象に、「生涯学習意識調査」を実施しました。

このほど調査結果がまとまりましたので、概略をお知らせします。

なお、この意識調査の結果は、今後の国見町における生涯学習の推進に役立てられます。

一週間当たりの自由時間

10時間未満が39.2%

一週間に自由時間（仕事や家事・睡眠等を除いた時間）をどれだけ持っているか調査した結果が図Ⅰです。

女子より男子の方が自由時間が多し。年代別にみると、二十歳未満、二十代、七十代に自由時間が多く、三十代、四十代、五十代といったいわゆる働き盛りの人達に自由時間が少ない。

余暇時間の利用は

テレビとこころ寝が主

余暇（自由）時間をどのようか、一人三つまで選んでもらった結果が図Ⅱです。

「テレビ等」、「こころ寝」が非常に多く、余暇を有効に活用している人は少ないという結果がでています。

生涯学習とは

人は誰でも何等かの学習を行いつつ毎日を過ごしています。子育てのこと、仕事のこと、家庭生活や地域生活のことなど、絶えず学びの世界に身を置いて暮らしており、また、優れた文

化や芸術に触れたり、スポーツ活動を行うなど、自己を高める学習活動を行っています。

このように、人々が自発的意志に基づき、必要に応じて学習の手段や方法を自ら選んで生涯にわたって行う学習を「生涯学習」と呼んでいます。

「生涯学習」の言葉を

理解している人は約60%

生涯学習に対する関心度を探るひとつとして、「生涯学習」という言葉を知っているかどうかの問いに回答してもらいました。

全体的には「よく知っている」と「少し知っている」を合わせると約六十％であり、年代が高くなるにつれ知っている割合が多くなっています。

学習の方法は

個人的に雑誌・書籍等で

どのような方法で学習したか（一人三つまで選択）を表したのが図Ⅲです。

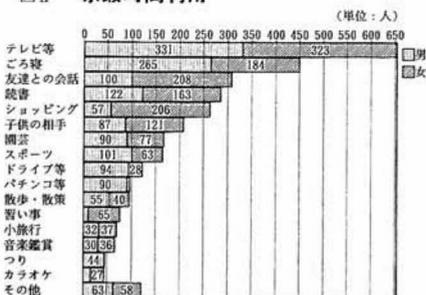
全体的には、「個人的に雑誌・新聞・書籍等を利用して」が一番多く、「個人的にラジオ・テレビの番組を視聴して」、「グループ・サークル活動」と続く。

男女別に見ると、個人的に学習する方法は男子に多く、グループ等で学習する方法は女子に多い傾向がある。公民館の講座等で学習する女子が男子の二倍であることは、「阿津賀志学級」や「成人学級」の学級生の男女の構成比からみても妥当といえる。

図Ⅰ 自由時間

	(単位：%)			
	0	20	40	60
20歳未満	21.4	21.4	32.1	25
20代	20.8	22.2	41	16
30代	48.2	27.5	22.5	1
40代	38.7	35	23	
50代	54	22.7	20.2	3
60代	40.4	15.9	27.9	15.9
70歳以上	28.3	18.9	20.8	32.1
男	35.2	23.8	28.4	12.5
女	43	25	28.1	8.8
全体	39.2	24.4	25.7	10.6

図Ⅱ 余暇時間利用



生涯学習で



生涯学習に積極的に取り組む阿津賀志学級の皆さん

学習活動をしなかった理由は
「忙しい」次いで「興味ない」
学習しなかった理由(一人三つまで選択)を表したのが図Ⅳである。
「仕事が忙しく時間が足りない」、「自分の興味や関心を引くものがない」、「開催の時期や時間があわない」が主な理由である。「特に学習をする必要を感じない」も百九十一人と多い。

今なぜ生涯学習が

大切なのでしょうか

最近、「定年後の自由時間を活用したい」とか、「仕事が引けたらワープロを習いたい」という話をよく聞きます。
なぜ、このような方が増えてきたのでしょうか。

平成四年七月に生涯学習審議会の「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」答申した中で、生涯学習の必要性が高まってきた社会的背景として、

- 高齢化(高齢化社会の問題への理解と心構え)
- 科学技術の高度化(新たな知識・技術への対応)
- 情報化(多様なメディアや情報に主体的に対応、活用)
- 国際化(異文化の理解・尊重、国際社会に対する貢献)
- 価値観の変化と多様化(生きがいや自己実現など人間性豊かな生活)
- 男女共同参画型社会の形成(女性が参画できるような条件整備)

●家庭・地域の変化(家庭や地域社会の機能の回復、充実)の七点があげられています。
人生八十年時代を迎えた今、子育ての後や定年後の人生はと



先生の指導のもと書道に励む

ても長いものになってきました。その時間を充実したものにするために生涯学習は不可欠です。
また、最近の技術革新の進歩や国際化の進展にみられるように社会の変化のサイクルはますます速くなってきています。このような社会に対応していくには、生涯学習により絶えず新しい知識を身につけることが求められています。

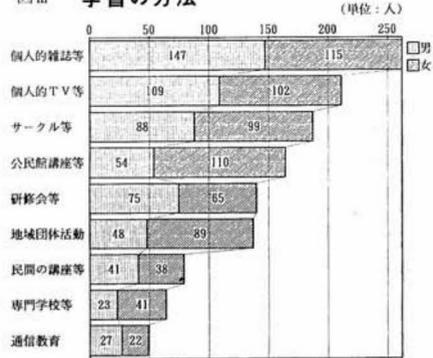
生涯学習の場を設置

国見町には、観月台文化センターなど、生涯学習を推進する格好の場があります。
また、教育委員会生涯学習課では、様々な教室を開講するなど、生涯学習の機会を設定しています。
実り多い人生となるよう、生涯学習を積極的に推進してください。

図Ⅳ 学習活動をしなかった理由



図Ⅲ 学習の方法



緑と水辺空間の創造

～水環境整備事業～



水環境整備事業完成予想図

観月台公園が生まれ変わります……今、観月台公園が果の行う水環境整備事業により、整備が進められているのをご存知ですか。

水環境整備事業は、老朽化した農業水利施設としてのため池を改修するとともに、緑と水辺の空間を整備することにより、憩いの場としての公園の機能を高めるために行われるものです。

現在、平成八年度の完成に向けて工事が進められており、完成後は、文化と福祉の複合施設である観月台文化センターに、装いも新たに快適空間としての公園がプラスされ、観月台は、文化の発進基地として、そして、憩いの場としての活用がさらに高まるものと期待されます。

今月号では、水環境整備事業の概要をお知らせします。

水環境整備事業の概要

基本計画

大正時代初期に農業用ため池として築造された「観月台ため池」は、当初のかがい用水貯留を主目的としたものから、水量調節用のため池へと性格を変え、現在に至っています。

一方、観月台公園は、町の中心部に位置しているが、沼に直接流入する生活雑排水は少なく、観水公園として親しまれ、桜の花見や農業市、花火大会、児童の遠足等に年間を通して多くの人々に利用されています。

このような状況を背景に、農業水利施設としてニーズに合った利用が図れるよう改修されるとともに、最近少なくなった水辺空間、観水施設としての機能を増大させ、豊かで潤いのある農村地域創造の核となる施設として整備されます。

施設の概要

樹齢百年ほどの桜、杉、松の保護活用、公園内にある神社との調和、隣接する観月台文化センターとの役割分担、堤体の保全および維持管理の軽減を図りつつ施設整備が行われます。

環境施設
桜、杉、松と調和のとれた中

小木の植生により緑空間を創造するほか、水飲場、ベンチ等の擬木化により自然との融和が図られます。また、眺望を楽しめる東屋や水上ステージ、環境保全施設としてトイレ、案内板等が設置されます。

基盤施設

水辺で親しめる「せせらぎ」を設けるほか、幼児用水遊び場および自然石組による護岸を整備することにより、水辺空間をつくり親水機能が高められます。また、一段低い新たな護岸を石積み、平張ブロック、魚巢ブロック等で設け、小段には沼を巡る遊歩道がつけられます。

このほか、沼の底の泥の除去、用水路、用水施設および堤体の整備、取水ゲートの設置、安全防护柵等の改修が行われます。

事業費および費用負担

事業費（環境施設と基盤施設の工事費等）として、約五億九千万円が見込まれています。このうち、国が1/2、県が1/4、残りの1/4を町が負担します。

工期

平成二年度から平成八年度までの七カ年の継続事業で進められています。



緑と水辺空間の整備が進む観月台公園

水環境整備事業の規模等

ダム（観月台ため池）のつくり

		施設面積
形式	土堰堤	19,460㎡
堤高	5m	(上池, 中池, 下池)
堤長	106m	(3,008+14,654+1,798)
堤体積	14,000㎡	
総貯水量	87,000㎡	

長崎県 国見町の訪問が実現

町名が同じということで交流を深めている長崎県国見町と大分県国見町を六月二十七日から三十日にかけて、富永町長と町議会議員の一行二十三名が、訪問しました。

長崎県国見町とは、昭和六十二年に両町のライオンズクラブが交流を始めたのをきっかけに翌年、議会議員の皆さんが来町して以来、親睦を深めあっています。また、大分県国見町とは、平

風土、文化、財政規模、産業などの異なる「国見町」の行政状況をつぶさに視察し、無事帰町しました。



長崎県国見町で行われた歓迎会

佐藤俊雄さんらが水道功労表彰を受賞

五月十九日に県水道協会総会が、五月二十五日に町簡易水道協会総会が、そして、六月二日には保原保健所管内水道協会総会が開催され、それぞれの総会の席上、次の方々が、長い間、簡易水道の健全な運営に努力され、さらに、豊かでおいしい低廉な水の供給に尽くされた功勞により、表彰を受けました。

■受賞者のみなさん(敬称略)
 ◇県水道協会長表彰
 佐藤俊雄(泉田字川南27-2)

八島富蔵(山崎字中川前18)
 ◇保原保健所管内水道協会長表彰
 ○個人の名

安藤政治(山崎字館東3-17)
 ○水道公認店の部
 国見ガス住宅設備機

県北水道
 ㈱国見建工
 ○施設の部

小坂簡易水道組合
 内容簡易水道組合

◇町簡易水道協会長表彰
 橘 一郎(小坂字古内3)
 林 長七(小坂字宮五部内14-13)
 松浦貞一(石母田字中ノ内24)

安藤政治(山崎字館東3-17)

中体連各種大会で 県北中が健闘



熱戦を展開(女子バスケットボール)

伊達支部中体連総合大会において、男子ソフトテニス部が優勝、伊達支部中体連水泳大会において、男子水泳部が総合優勝するなど、県北中は好成績をおさめました。主な成績は次のとおりです。(敬称略)

◇伊達支部中体連陸上大会(5月24日・信夫ヶ丘競技場)
 ●優勝(県大会出場権獲得)
 ●優 勝 佐藤友美

●三位 佐藤孝志
 共通八百メートル 桜澤孝志
 三種競技A 片平伸江

●三位 佐藤美美子
 共通八百メートル 佐藤美美子
 三種競技A 佐藤崇宏

●三位 佐藤友美
 共通八百メートル 桜澤孝志
 三種競技A 片平伸江

●三位 佐藤美美子
 共通八百メートル 佐藤美美子
 三種競技A 佐藤崇宏

●三位 佐藤崇宏
 共通八百メートル 佐藤崇宏
 三種競技A 佐藤崇宏

女子卓球部
 (個人)
 ●準優勝 遠藤広輝組
 ソフトテニス(ダブルス) 阿部隆幸組
 柔道(軽量級) 後藤孝二

●三位 佐久間実組
 ソフトテニス(ダブルス) 鎌水真一組
 卓球(シングル) 斎藤あゆみ

◇伊達支部中体連水泳大会(6月28・29日)
 (団体)
 ●男子総合 優勝 男子水泳部
 ●個人 優勝

●優勝
 二百m平泳ぎ 樋口雄一郎
 二百m背泳ぎ 樋口雄一郎
 二百m背泳ぎ 佐藤泰将

●準優勝
 千五百m自由形 井砂 聡
 二百mバタフライ 佐藤 充
 二百mバタフライ 佐藤 充
 二百m個人メドレー 松田聖子
 四百m個人メドレー 松田聖子

●三位 仲野智史
 二百m背泳ぎ 渋谷美奈
 二百m背泳ぎ 渋谷美奈
 ◇県北中体連水泳大会(県大会出場権獲得)
 ●六位 樋口雄一郎

INFORMATION

● お知らせ ●

8月は「道路をまもる月間」 8月10日は「道の日」

道路は、私たちの生活に欠かすことのできない基本的施設ですが、空気のようにあまりに身近な存在であるため、その重要性が見過されがちです。

急速な高齢化など住民生活を取り巻く環境の変化に対応し、真に豊かな生活を実現するために、二十一世紀に向けて、今こそ積極的な道づくりが求められています。

国・県・町では、道路の整備推進と適正な維持管理に積極的に取り組んでいます。

八月七日(日)は、国見町の一斉美化作業日です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



サラリーマンの奥さん 届出を忘れていませんか

サラリーマンの奥さんは、国民年金の第三号被保険者です。この第三号被保険者は、自分で保険料を納める必要はありません。

これは夫の加入する被用者保険制度(厚生年金保険や共済組合)でまとめて費用を負担するようになっているためです。

これによりサラリーマンの奥さんは、夫の退職、転職、就職といった場合には、届出が必要になりません。

さらに、奥さん本人が、就職(被用者保険の適用を受ける)したり、また、パートタイマーなどで所得を得られるようになり被扶養配偶者でなくなった場合にも届出が必要です。なお、所得を得られるようになった場合は国民年金の第一号被保険者として保険料の納付が必要になります。

以上のようなとき、必要な届け出がされず、二年を経過すると時効になり、いくら被保険者としての資格があっても二年以前の分については、未納期間と

して扱われますのでくれぐれも届け出を忘れないようにしましょう。

■問い合わせ

● 役場住民福祉課国民年金係
☎ 8521111 内線1335

犬の飼い主のマナー

フンは後始末を

最近、公園や小学校周辺などに、犬のフンが目立ちます。

芝生や道路、砂場などに放置されたフン、見た目にも汚いことばもちろん、環境の悪化、それにも、そこで遊ぶ子供の健康にも悪影響を与えます。

マナーを守らないごく一部の飼い主のため、他の飼い主の方、また多くの町民の方が迷惑をしています。

犬を正しく飼うためにも、次のことについてご協力をお願いします。

○犬のフンは飼い主が責任を持って必ず始末しましょう。

○犬の放し飼いは危険ですのでやめましょう。

○犬が人をかんだ場合は、必ず役場保健課(☎8521111 内線141)へ連絡してください。

戸籍の窓口

(6月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
菜(しおり)	佐藤 幹夫	貝 田
玲 奈(れ な)	紺野 秀人	泉 田 下
俊 樹(としき)	松浦 薫	耕 谷
祐 基(ゆうき)	沼田 裕一	宮 町 北

結婚おめでとうございます

氏 名	町内会
斎 藤 新 作	徳 江 北
遠 藤 美 喜	大 町 北
吉 田 信 吾	原 町
齋 藤 恭 子	保 原 町
梅 津 金 利	滝 山
阿 曾 智 子	福 島 市
橘 寿	宮 町 南
霜 山 ルミ子	宮 町 南
五十嵐 秀 樹	鶉 町
菊 地 美 佳	石 母 田 原

おくやみ申しあげます

氏 名	年齢	町内会
高 橋 アイ	92	本 町
大 槻 清	91	貝 田
村 井 イ ト	77	石 母 田 原
佐 藤 こ う	83	滝 山
松 浦 勇	49	第 12
三 木 精 次	72	山 崎 北



事故は瞬間 ベルトは習慣

「事故ゼロへ 大きな輪になれ
うつくしま」

- ◇ スローガン
- ◇ シートベルト着用徹底
- ◇ 運動の重点
- ① シートベルト着用の徹底
- ② 青少年運転者の交通事故防止
- ③ 過労(いねむり)運転による交通事故防止
- ◇ 運動期間
- 七月二十一日(休)から八月二十一日(出)までの一カ月間

7/21～8/20 夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

夏には、青少年の無謀運転による交通事故や帰省をはじめ行楽等に伴う過労運転による交通事故などの多発が予想されます。このため、広く県民の交通安全意識を高揚し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、県民総ぐるみで交通事故防止の徹底を図ることを目的に運動が展開されます。

観月台文化センター ホールでの催し案内

■夏休み親子映画館

親子で楽しめる映画(アニメ)を上映します。

- ◎ 7月31日(日) 13:30～15:00
「ゼロ弾きのゴースト」
- ◎ 8月13日(土) 13:30～15:00
「銀可鉄道の夜」
- 料金無料

■トーマス・グロッセンバッハ 田村径子 デュオ・リサイタル

ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクールで優勝した2人組のチェロとピアノの音色をお楽しみください。

- ◎ 8月7日(日) 14:00～16:00
- 料金 大人(大学生含) 2,000円
小・中・高校生 800円

人口と世帯

7月1日現在(前月比)6月中の動き

人口	男 5,723人(+6)	転入 36人
	女 6,138人(+12)	転出 16人
	計11,861人(+18)	出生 4人
世帯数	3,072戸(+10)	死亡 6人

7月 (ふみづき)

- 20日(水) 海の記念日
- 21日(木) 自然に親しむ運動
- 23日(土) 大暑
- 26日(火) 土用の丑

8月 (はづき)

- 1日(月) 水の日
道路をまもる月間
- 6日(土) 広島原爆記念日
- 9日(火) 長崎原爆記念日
- 10日(水) 道の日

こよみ

国見町職員採用試験案内

平成7年度の国見町職員(高校卒程度)採用試験を次により行います。

1. 試験職種・採用予定人員 一般事務(行政)・若干名
2. 受験資格
昭和48年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた者で、平成7年3月までに高校卒業、または卒業見込みの者。
3. 試験の日時・場所
●平成6年9月18日(日) ●福島県自治会館(県庁西隣)
4. 受験手続
①申込用紙は国見町役場で交付します。
②申込用紙に必要事項を記入し、国見町役場に提出してください。
③受験票を受領したときは、最近6カ月以内に撮影した本人の写真をはって、試験当日に必ず持参してください。
5. 受付期間
平成6年7月19日(火)～8月18日(木) 午前8時30分～午後5時(土曜日、日曜日を除く)。郵送による申し込みは、8月15日(月)までの消印有効。

■問い合わせ 国見町役場総務課 ☎85-2111 内線 121

～今年の夏にみは国際色豊か～ 国見町観月台文化センターが 国際青年交流村に!!

外国青年25名と県内青年50名が、言葉の垣根を越えて、国見町観月台文化センターに集う。

- 8月18日(木)～8月21日(日) 宿泊交流「観月台文化センター」
- 8月21日(日)～8月23日(火) ホームステイ(外国青年)

【国際青年交流村】は、福島県が主催となり、国際感覚を持った青年リーダーを育成するための事業です。

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(車庫入口からお入りください)
時間: 9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談員

- 7月25日(月) 後藤 一・佐久間 セト
- 8月5日(金) 高橋 藤右エ門・渋谷 愛子
- 8月15日は休ませていただきます。

友だちいっぱいできる楽しいね

少年仲間づくり教室開講

平成六年度少年仲間づくり教室の開講式は六月十二日、観月台文化センターの大研修室で行われました。

この教室は、小学校の高学年（四、五、六年生）の児童を対象に、学校や学年の異なる集団

の中で、仲間づくりに必要な基本的能力を身につけ、心身ともに健全な少年を育成することを目的に実施しているものです。

式には、児童二十八名のほか父母十六名が出席、鈴木公民館長のあいさつがあり、来賓の藤



▲少年仲間づくり教室開講式

田小学校長、晶腹先生から励ましのことをいただきました。続いて、一年間の学習計画と実践するにあたっての心がまえについて説明を受けました。

子育て教室

野外研修

第二回子育て教室の野外研修を六月二日、半田沼公園で行いました。研修生十四名、子どもさん十六名、ボランティアの方が六名の参加者は、福祉バスを利用して、午前十時公民館を出発しました。天気は上々、若葉に薫る半田沼公園の多目的広場は、風もさわやかで心がはげばれとしました。子どもたちのびのびとしてはいま



▲自然の中でのびのびと

た。講師の鈴木敦子先生（福島市新体操クラブ）の元気のよい掛声で、お母さんやボランティアの方々と体操やゲームをして遊びました。日頃運動不足のお母さんたちも、健康体操の指導を受けて、子どもたちと童心に帰って動きまわりました。昼食は木蔭を利用して、仲よしグループごとに集まり楽しい食事でした。

いつも家の中でみている子どもとは違った行動に、自分の子どもも新しい面を発見することもあり、大へん有意義なことだと思います。またお母さんたちも仲間意識を高めて、今後の自主的な学習に効率よく研修を進められてゆくことと思います。

食休みのあと、多目的広場から北駐車場までの一キロあまりを一才児も元氣よく歩き出しました。途中でおんぶしたり、道ばたに坐りこんでしまつてお母さん汗だくのようにでした。駐車場近くのアスレチックでは、三才四才児は丸太渡り、あみ潜りに挑戦したり、すべり台などで遊んだり、一才児も負けじとお兄さんお姉さんのマネをしてお母さんをハラハラさせました。

帰りのバスの中では心地よい疲れにぬむりかけていました。午後二時半、無事公民館に戻



▲おにぎりをはおぼる参加者の皆さん

元気に山頂を目指す……

町民栗駒登山

登山により、自然と触れあうとともに体力の向上を図ろうと七月三日、公民館主催の町民登山が行われました。

参加者三十一人は観月台文化センター前を午前七時に出発、登山口のイワカガミ平には午前九時三十分不到着。栗駒山頂（一、六二八m）を目指して登山を開始しました。

途中、登山道脇のイワカガミやマイヅルソウの可れんな花を見つけては歓声を上げ、一歩一歩頂上を目指しましたが、あいにく頂上付近は強風が吹き荒れ、下山を余儀なくされました。

参加した皆さんは、機会があったらもう一度山頂を目指したいと話をしていました。

「国際情勢の動きと日本」について学ぶ

阿津賀志学級、成人学級、女性教室の合同学習会は六月二十四日、約五百五十人が出席して観月台文化センターホールで行われました。

福島民報社論説委員長の阪本弘先生を講師に迎え、「国際情勢の動きと日本」と題して講演をいただきました。国内の政治情勢が非常に緊迫した時でもありましたので、はじめに「政界の動き」について、続いて「日本の国際社会における立場、日本人としての心のあり方」についての話がありました。



▲国際情勢について学ぶ

日本とアメリカの友好関係や日本の経済摩擦の解消などには、故事にもあるように時には「小異を捨てて大同につく」といった妥協も必要であろう。さらに、日本の教育のあり方にも触れられ「温故知新二事不忘、後事之師」のたとえを引用して、今後は日本人すべてがますます国際社会を磨き、激動する国際社会の中にあつても名譽ある地位と役割が十分果たせるだけの識見と覚悟が大切。まさに生涯教育の必要性がここにあるとまとめられました。

今後は、講演会を契機に国際感覚を身につけるよう努めたいものです。

女性教室 研修旅行

六月二十九日、三十一名が参加し、くみにみ女性教室研修旅行を実施しました。

研修は「自然や伝統の文化に親しみ、見聞を広めるとともに、学級生相互の意見を交換し、親睦を深める」というねらいで、喜多方方面の史跡、名勝めぐりを行いました。

午前中は、班別自由行動とし、各グループが自由に喜多方市内をめぐり、午後は学級生全員で



▲熊野神社前で（喜多方市）

喜多方蔵の里、熊野神社の長床を見学しました。

蔵の里は、道路建設などで解体を余儀なくされた蔵や民家を移築再生し、蔵造り文化を後世に伝えることを目的とした施設で、店舗や味噌蔵、農家の穀物蔵、座敷蔵などの他、旧郷頭屋敷及び肝煎りの曲家を見学しました。

熊野神社では国の重要指定文化財にもなっている「長床」を見学しました。長床は四十四本の太い柱に茅葺寄棟造り、周りには壁も扉もない吹き抜けの柱大な建物で、その昔、修験者が厳しい修業に励んだ道場と伝えられています。

参加者は喜多方の伝統の文化にふれ、有意義な一日を過ごしていました。

写仏教室が

開講

六月二十三日、午後一時半、写仏教室が開講されました。受講生十八名、石原晃堂先生を講師に迎え、鈴木公民館長より「しっかりやってください」と励まし挨拶がありました。

広い大研修室に一人一脚の机でゆったりとして、落ち着いて描くことができます。石原先生から写仏の心、態度、心構えについてお話があり、実際に先生の描かれた写仏画や、霊山町公民館で受講されてきた、高橋久さんの描かれた「千手観音」の見事な写仏画を拝見して、こんな見事に描けるようになるのだろうかかと、みんなすっかり感心したり、心配になったりしていました。

先生から頂いたお手本をベニヤ板で作った下敷にテープで貼り、その上に薄美濃紙を貼ります。仏様の線がはつきり浮かび上がります。それを面相筆で線と引いて行きます。この線を鉄線と

膨らませていきます。

六月三十日、第二回の教室から、いよいよ「釈迦如来」の白描画（線描き）が始まりました。先生から頂いたお手本をベニヤ板で作った下敷にテープで貼り、その上に薄美濃紙を貼ります。仏様の線がはつきり浮かび上がります。それを面相筆で線と引いて行きます。この線を鉄線と



▲熱心に写仏に取り組み

いいです。なかなか思うようには引けません。はじめは悲鳴をあげていましたが、いつしかしんと静まりかえって、みんな真剣に描いていました。二時間の間、本当にすばらしい時間を体験しました。初めはよたよたした線でも、立派に仏様がお出ましになりました。みんな満足気な面持ちでした。自分の年だけ仏様を描きなさいと先生に言われて、沢山描いているうちに立派な写仏画になると思っています。

写仏教室はまだ定員が空いておりますので、途中からでもよいかから、ご希望の方はお出かけください。七月七日は移動教室で桑折の坂町観音と福島市の鳥渡の観音寺、陽泉寺を見学しました。

県北中が
「よい歯の学校」
優秀校に

学校ぐるみで、むし歯予防に
取り組んでいる県内の小・中学
校をたたえる「第三十八回よい
歯の学校」優秀校に県北中が、
努力校に藤田小が選ばれました。
県北中学校（斎藤一哉校長）
では、昼休みの時間に「歯磨き



昼休みに歯磨きを行う県北中生徒の皆さん

音楽」を流し、歯磨きの励行に
努め、学級活動の時間を利用し
て、むし歯予防の指導に当たっ
ています。

今回の受賞について、養護教
諭の石幡先生は、「家庭との連
携で健康な歯をつくる努力をし
ています。治ゆ率の高いのが受
賞につながったのだと思います」と
喜びを語ってくれました。

ピアノの音色に酔う

高橋桂子演奏会

六月二十六日、観月台文化セ
ンターホールにおいて、高橋桂
子演奏会が開催され、会場を訪
れた音楽ファンや家族連れは、
ピアノの音色に酔っていました。
高橋桂子さんは、県立福島女
子高等学校を卒業後、武蔵野音



演奏を終えた高橋さんに花束が贈られる

楽大学器学科を卒業、現在は、
福島市でピアノ/教室を主宰し
ています。高橋さんのお母さんは
国見町の出身。

演奏会では、高橋さんが、ス
トラヴィンスキーのピアノ音楽
をはじめ、「エリーゼのために」
などの名曲を奏でたのに続き、
県北中学校生徒三人の公開ピア
ノレッスンも行われました。

一人暮らし老人宅の
電気の
安全診断を実施

東北電力㈱桑折サービスセン
ターでは、六月二十九日、町内
の一人暮らし老人宅二十戸を対
象に、屋内の電気の安全診断を
行いました。
東北電力の社員二人と町のホ
ームヘルパーの二人が、老人宅



「蛍光灯だいが汚れていますね」

を二戸一戸訪問し、一日がかり
で、漏電検査や蛍光灯の清掃、
故障器具の修理、交換などに取
り組みました。

日頃手入れの行き届かない蛍
光灯や電気器具が、見連えるよ
うに美しくなり、お年寄りでは、
「これで安心して電気が使えま
す」と、思いがけない訪問に感
謝していました。

お年寄りと交歓会

大枝季節保育所

大枝季節保育所で、七月二日、
地区のお年寄りを招き「お年寄
りと園児の交歓会」を行いまし
た。
今回が十一回目の開催となる
交歓会は、完成したばかりの国
見東部高齢者等活性化センター



お年寄りに楽しいひとときをプレゼント

体育館で行われ、来賓やお年寄
りなど約百名が出席しました。
出席者は、かわいらしい園児
の歌や踊りに見入り大喜び、ま
た、お話おばさんの横山幸子さ
んによるユーモアあふれるお話

や、佐藤松子さんと菊地和子さ
んによる日本舞踊も次々に披露
され、時の経つのも忘れ楽しんで
いました。

今年は暑い夏を……と、望む声が多い。
天候は、農作物に影響を及ぼすばかりでなく、景気にも微妙
に作用する。
季節感が薄らいでゆく今日、やはり夏は暑くあってほしい。
(S)

発行・編集 国見町総務課
福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目二.2の1
☎969-17
FAX0245 (85) 2181

集日 編